

外部評価

令和元年度 阪本小学校外部評価報告書
評価委員：安西委員長、坂間副委員長 塚越委員、今野委員、田村委員、本橋委員、山田委員、江本委員 報告書作成者：塚越委員
評価時期 令和2年1月28日
<p>1 重点目標の評価</p> <p><重点目標1について></p> <ul style="list-style-type: none">・研究発表は、会場等の関係で、地域や保護者が参観できなかったことは残念であった。しかし、学校便りや学校公開等で、ICT機器の活用を進めている様子がわかった。・教育に関しては、不易と流行がある。昔と今とでは時代が変わっているが、変わってはいけないものもある。コミュニケーション力は、変わってはいけないものである。家庭の理解も必要であり、学校・地域も含めて連携して身に付けさせてほしい。 <p><重点目標2について></p> <ul style="list-style-type: none">・ネット被害などを受けない取組について、学校SNSルールを作成しているなど推進していることが理解できた。・保護者アンケート「学校は地域を生かした教育活動や行事がある。」の回答から、地域との連携がなされた教育活動が行われていることが評価できる。 <p><重点目標3について></p> <ul style="list-style-type: none">・日本の伝統文化理解教育を始め、特色ある教育活動の推進など、成果が上がっている。基本的な生活習慣の確立など、課題が出ているのは、家庭の力が必要なものである。家庭力の向上をどのように図っていくか課題が残る。・金融教育は、「コレド阪本」を通して特色として行っていることがわかった。法教育についても伝えて欲しい。 <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつについては、学校での指導だけでなく、家庭の力が必要なものである。学校と家庭・地域で連携して考えていく必要がある。・「図書室やパソコン室を十分に活用している」と評価している保護者が思ったより少ない。図書室やパソコン室の利用状況やタブレットパソコンを使用していることなど、保護者へ伝えることも必要だと考える。 <p>3 その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none">・熱中症やインフルエンザ等の対策について、その状況に対応した指導がなされていることがわかった。・新校舎落成まであとわずかである。今まで同様、地域・保護者と連携を図って準備をすすめたい。・歴史ある阪本小学校の伝統を引き継げるよう、これからもがんばってほしい。